



『ひだまりの会』たより

「痛み止めのお薬のお話」を開催しました。

9月のがんサロンでは、当院薬剤師より「誤解していませんか？緩和ケアについて」というテーマでお話がありました。

「医療用麻薬」という言葉は、「麻薬」という言葉から連想する負のイメージも強く、使用するにあたり抵抗を感じる方もいらっしゃると思います。WHO（世界保健機関）によると緩和ケアは近年がん治療と並行して行われていることです。

サロンでの講義の内容を簡単にご紹介します。

☆医療用麻薬の副作用の対策

◎吐き気・・・数日で慣れますが、慣れるまでは吐き気止めの併用を積極的にを行います。

◎便秘・・・排便の回数や食事の状態などをチェックしながら個人に合った下剤を選びます。

◎眠気・・・飲み始めによくみられますが、強い眠気があれば他の医療用麻薬への変更をすることがあります。

☆医療用麻薬の特徴

麻薬は医療用麻薬と医療用でない麻薬の二つに分類されています。医療用麻薬は有効性・安全性などが承認された合成・あるいは天然の薬物であり、医師が処方可能です。

違法に取引されている薬物は一時的な快楽のために使用されることがあり、医療用としての許可がされていないものです。

(参考文献)

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（2020年版）

【よくある質問】

Q 医療用麻薬の使用が心配です。

A 法律で医療用に使うことが認可されている麻薬です。適正に使用すれば依存症もなぐがんによる痛みの緩和効果が期待でき、患者さんの生活の質向上に必要な薬剤です。

Q 麻薬を使うと寿命が縮むのですか？

A 麻薬の使用量が大量であった人と、そうでなかった人との間に寿命の長さに変わりがないことがわかっています。

参加者の方々からは、「がんの治療を続けるためにも痛み止めを使うことがわかった」

「副作用とも上手につきあいたい」などのご意見があり、皆様熱心に傾聴されました。



ホスピス緩和ケア週間のイベントのご案内

「がんを診断されたときからの緩和ケア」「当院の緩和ケア提供体制について」などの動画配信、相談コーナー、各種パンフレットの配布などを行っています。お気軽におこしください。

\*日時

10月7日（月）～10月11日（金）  
10時～12時

\*場所

東館2階ドトール横 特設スペース

がんサロンの予定

☆10月16日（水）  
交流会・情報交換



☆11月20日（水）  
アピアランスケア（外見ケア）

～脱毛・胸部補整具、スキンケアなどアピアランスの基本～  
講師 当院 乳がん看護認定看護師

☆12月18日（水）  
交流会・情報交換



がん体験者によるピアサポートのご案内

がん患者さんやご家族のお話をがん体験者（ピアサポーター）が個別に伺います。どうぞお気軽にご利用ください。

10月10日（木）・16日（水）

11月6日（水）・14日（木）  
20日（水）・28日（木）

12月4日（水）・12日（木）  
18日（水）・26日（木）

（場所）東館1階患者総合支援センター  
がん相談支援センター（Nブース）

（時間）午前11時～午後4時

編集後記

ようやく猛暑から抜け出し、秋の気配が感じられる季節になりました。寒暖差もありますので、皆様体調には気を付けてお過ごしください。次回のサロンもぜひおこしください。



がん相談支援センター担当  
0466(25)3111(代)